

令和7年度

# 子育て支援つうしん

社会福祉法人 函館共愛会 認定こども園

令和8年2月1日発行

今回は、4月に実施した子育て支援に関するアンケートの中から、「発達～イヤイヤ期」についての情報をご紹介します。

みなさまからのアンケート回答では、発達～イヤイヤ期についてこのようなお悩みの声が聞かれました。

(原文ママ)

妹が産まれてから妹の頭を強めに叩いたり気を引こうと危ない行動をすることが時々見られます。

気持ちの切り替えに時間がかかる部分や頑固な性格な部分に対して関わるのが大変に感じることがあります。気がつくとも怒ってばかりいる気がして子どもと向き合うのが難しいと感じることがある。



イヤイヤ期の泣いたふりや、悪いことをしても謝れないこと。

2歳になってから遊んでいる最中にお風呂に行く、お出かけするなどのあそびを中断しないといけない時にひっくり返ってイヤイヤする。



食事中や、話を聞く場面、本を読んでもらっている時にじっとしてられないことと、ところかまわず、大きな声を出すことが悩みです。



4歳の娘が、怒られたり嫌なことがあるとすぐ拗ねたり怒ったりすること。どのように対応すればいいかわからない。

集中して人の話を聞けない。自宅では気が散る物を見えないようにするとこちらの話を聞かぬが、外出時や外遊びなどは大きめの声で強めに言わないと聞かない。



思うようにいかないと悔しくてないてわめく。声をかけても落ち着かない時は少し時間をとり様子をみている。

## ～対処法や関わり方について～

何に対してもイヤイヤの時期は、何が嫌なのか、どうして嫌なのか、その思いを全部聞いて、「そうだね、嫌だったね」と受け止めてあげること子どもも気持ちが落ち着いてきます。大人の根気が必要ですが、聞いてあげることがコミュニケーションの基本なので大切にしていきたいですね。

その先にある楽しい見通しを具体的に伝えたり、「ここまでね」のルールを目に見える形で示すようにしましょう。

急に遊びを終わらせるのではなく「あと5分でおしまいね」「次に〇〇をしたら〇〇しようね」など“予告”をしたり、次の楽しい予定に繋げて声を掛けたりすることで気持ちが切り替えやすくなります。

時には「今日だけは特別ね」といった対応があってもかまいません。上の子だけと過ごす時間をつくる等、いくつかの選択肢を用意して、柔軟に対応してみましょう。

あえて反対をせずに、やりたいようにやらせてみる。好きなようにやらせて本当に危ないことだけはしっかり言い聞かせるようにしましょう。

子どもは自分の言い分を聞いてもらえると、お家の方への信頼を深めるので、わがままを言うことは少なくなります。子どもの意見はよく聞きつつ、必要に応じて「今日はどうしようね」と、お家の方から提案してみましょう。



落ち着くことができる場所に移動し、少し待ってクールダウンさせましょう。

「本当はこうしたかったんだよね」と子どもの気持ちを受け止めたあとで、「たたくのはやめようね」と伝えられるといいですね。

基本的に、子どもの気持ちが落ち着くのを待つしかないので、「こうすればうまくいく」という正解はありません。イヤイヤ期は子どもが成長するうえでとても重要な時期です。この時期の子どもの「主張」を大人が適切に受け止めてあげることで、自己肯定感が高まり、自分に自信をもてるようになるといわれています。お家の方は頑張りすぎずに、上手に息抜きしながら、この時期を乗り切っていきましょう。

家庭での対応に困ったときは、園にご相談ください。  
より良い対処法や関り方が見つかるかもしれません。



## ほっこりエピソード



毎日できることが増えていること。両手を広げたら自分も両手を広げて「おいで」と言いながら走ってきたのには驚きました。

咳をしていたら大丈夫？って心配して頭をよしよししてくれた。

ママの名前を書いて見せてくれたこと。

会話ができるようになったこと。

運動の成長が少し遅めだったので、楽しそうに歩いている姿を見た時はやっぱり嬉しかったです。

夜に寝言で笑ったり、ないよーないよーと言ったりしていることです。

「いないいないばあ」や「いいこいいこ」など、先生や親の動きを真似して遊んでくれることが増えて感心しています。

入浴時に一人で体を洗っている姿が一生懸命で可愛らしくほっこりしました。

毎日が嬉しい。

3歳を過ぎてからますます口が達者になりました。最近で1番笑った言葉は「まあまあお母さん落ち着いて〜」です。大人みたいなことを言うんだとびっくりしました。

ありのままに感情や訴えを表現してくれるところ。

園での出来事を毎回話してくれ、話の内容も上手になってきたと成長を感じています。また、小さい子のお世話もできたよ！など、我が子も大きくなったなと思います。

こども園では、たくさんのイベントがあり、そこでいろんなことに挑戦して、できるようになったことを教えてくれるのが嬉しいです。

朝登園したらクラスにある自分の棚を自分で開けて、自分で靴下を脱いでしまっていて、成長を感じ感動しました。

ありがとうごめんねが自分から言えるようになってきたこと。

内弁慶な子でしたが、こども園に入園し周りのお友達や先生と関わる中で社会性が日々高まるのを見て、こども園に入園して良かったと心から思います。最近では毎日帰ってきてからもカバンを背負ったりジャンパーを着たりしてこども園に行く準備をしているのが微笑ましいです。